



仕事場の壁は古今東西の書籍で埋まっている。徳川時代の茶かき、もう一つ取り組みたいテーマを温めているんだ。=東京・丸の内、鈴木理三撮影

転換期 徳川時代に学ぶ

歴史学者 山内昌之さん 71

想う 2019

原題

まず、なぜか、徳川時代に
ていて書くのが、という
お尋ねに答えてよ。と
それは、現代日本の基礎
が形成される第一段階、
まじり日本、0は、ま
の人が思っている明治維新
ではなく、徳川家康が、
江戸入府に導かれたから。
戦国時代で、オオトク
ち、平和的に日本を統

改元の節目に際し、歴史を顧みる
とはいって、その大切であらう。歴史学者
の山内昌之さんは、中東・イスラム研
究の第一人者でありながら、徳川時
代の日本をテーマに執筆している。そ
の背景にある想いを聞いた。

(編集委員 保高芳樹)

平和的統一へ江戸形成

令和 人口減や安保懸念

るため、生産と消費、法
財政や金融の中心としての
「江戸」が形成された。
そこから、東洋一極集中
や中央官の強大化と階級
といった、現代日本の強み
や弱み、価値観の原型が形
作られたのです。徳川家康

が基礎を固めた日本の統一
性と国民の一体感が、今日
まで続いています。
2019年の長きにわたっ
て続いた「バグス・トウカ
マツ」(徳川による平和)
が、明治以降の「天皇の世
紀」を静かに平和憲に用意
しました。やがての徳野

事の大きき考えれば最も
の犠牲です。欧米近代史と
比べても、多大の犠牲を伴
わずに国をまとめ上げた日
本の近世史を考えると
は、中東問題解決の知恵と
もなります。

関心を抱きます。日本史を
専門とする友人の助言や批
判を受けながら、専門家よ
りや自由な、外国史を入
れた複眼的な視点で徳川時
代を見られたらと願ってい
ます。

や飲食店など、豊かな文化
や風俗をすでに培ってい
た。そこで、明治維新は「日
本2.0」と捉えるべきで
しょう。そして、それが行
き詰まった結果、1945
年(昭和20年)の敗戦によ
って戦後の「日本2.0」
が始まったわけです。

「平成はやはり、昭和20
年以降の時代継承という面
が強い。戦がなかった。
戦がなく、
日本人が平和
と繁栄を享受
したという点は、歴史的
に見ても、安定の時代だ
と思えます。ただ、大きな
自然災害が頻発しました。
徳川家光と幕の時代に
ややけています。おむね平
和で財政も豊かだったの
に、噴火や地震、大火も起
こって、財政出動の大きな
対象が結局、災害復旧だっ
たからです。」

徳川家康が、徳川時代を
築いた。徳川家康が、徳川
時代を築いた。徳川家康が、
徳川時代を築いた。徳川家
康が、徳川時代を築いた。
徳川家康が、徳川時代を
築いた。徳川家康が、徳川
時代を築いた。徳川家康が、
徳川時代を築いた。徳川家
康が、徳川時代を築いた。

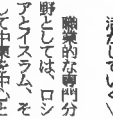
野心的な専門分
野としては、ロシア
やイスラムを中心と
して中東を中心と
して中東研究
やイスラム研究
が中心です。

「日本における中東・
イスラム研究の中心の存
在であり、」文芸春秋
秋「誌上で徳川時代を
「マダラ」の将軍の世に
を置いた。専門外の分野
に真面目に取り組む
人物や出来事に対する解
釈にも、世界史の知見を
活かしていく。

職業的専門とは異なる連
戦の仕事にあえて取り組ん
だきっかけは、有識者会議
での経験が大きいのです。
高齢になられた陛下の
責任をどう果たすかとい
うことは、天皇の憲法上の
立場をどう果たすかとい
うことだ。

「令和」は、天災が起
きにくいことを懸念し、私
自身が社会保障制度や防衛
政策の転換を迫られる可能
性も高い。シナリオとして
「日本2.0」が実現する
かを考えなくてはならな
い。令和は歴史を継承する
時代だと思えます。

長い視点 大切に
平成は、象徴的側面が著
実に傾いた時代として回
顧されるだろう。皇室とい
う、権力を伴わない権威が
在ることに対して、多くの
国民が安心感に似た気持ち
を共有していると思う。
だから、徳川時代の長き
平和の背後にも、権力と権
威の絶妙な関係があったと
いう指摘はうなずける。
歴史を顧み、長い視点で
モノをみる。この大切さを
教わるインタビューでもあ
った。新聞記者が忘れが
ちなことである。(保)



複眼的に
もちろん歴史学者、社会
科学者として、史料は徹底的
的に重視します。その
上で、たまたま幕府
の将軍を考察する
時、私は徳川史の
正面だけでなく、
朝廷はもとより、毛利や細
川といった戦国時代の視点も

「徳川」は通常、後向き
きのイメージを与えます
が、安全保障として能動的
な政策でもあった。オラン
ダを通じて海外貿易を振
興するだけでなく、
危険性を未然に回
避する外交戦略でも
あったのです。

また、戦禍のなかった徳
川時代は、洗練な公衆浴場

「左から」昭和に続く元号「平成」
を踏襲する小淵恵房長官(1989年
1月7日)／江戸城の史跡と高層
ビルが盛りなす東京の光景／イン
タビュー中に沈思黙考する山内さん
／新元号「令和」を踏襲する菅
官房長官(今年4月1日)



「令和」は、天災が起
きにくいことを懸念し、私
自身が社会保障制度や防衛
政策の転換を迫られる可能
性も高い。シナリオとして
「日本2.0」が実現する
かを考えなくてはならな
い。令和は歴史を継承する
時代だと思えます。